

審査における行射の要領（5人立の場合）

（財）全日本弓道連盟

	1 番	2 番	3 番	4 番	5 番
甲 矢	間をおかず行射する。	1番の「胴造り」の 終わる頃立つ。 1番の弦音で取懸け、 打起し行射する。	1番の弦音で立つ。 2番の弦音で取懸け、 打起し行射する。	2番の弦音で立つ。 3番の弦音で取懸け、 打起し行射する。	3番の弦音で立つ。 4番の弦音で取懸け、 打起し行射する。
乙 矢	4番の弦音で弓を立て 矢を番えて待つ。 5番の弦音で立ち、 間をおかず行射する。	4番の弦音で弓を立て 矢を番えて待つ。 1番の「胴造り」の 終わる頃立つ。 1番の弦音で取懸け、 打起し行射する。	4番の弦音で弓を立て 矢を番えて待つ。 1番の弦音で立つ。 2番の弦音で取懸け、 打起し行射する。	5番の弦音で弓を立て 矢を番えて待つ。 2番の弦音で立つ。 3番の弦音で取懸け、 打起し行射する。	射終れば直ちに弓を立て 矢を番えて待つ。 3番の弦音で立つ。 4番の弦音で取懸け、 打起し行射する。

（平成5年5月21日施行）

- （注）
1. 射場への入退場にあたっては、必ず上座に意を注ぎ、順次礼（揖）をする。
 2. 本座に進み、跪坐し、揃って揖を行い、射位に進む。
 3. 射位で跪坐し、脇正面に向きを変え、弓を立て矢を番えて待つ。
 4. 射終わったら1番より順次退場する。
 5. 次の控えは、3番の乙矢の弦音で入場し、本座に進み跪坐し、5番の弦音で揖を行い最後の射手が後退するとき射位に進む。
 6. 行射の前後動作が殊更に間延びすることは、進行の妨げになる。